

第3回 栃木県立益子芳星高等学校 学校運営協議会 報告

新型コロナウイルス感染症拡大予防対策として書面開催として実施し、主に今年度の総括として、審議していただきました。

開催日時 令和4年3月2日（水）送付

開催場所

出席委員 岡 良一郎 佐久間藤也 大森 威樹 加藤 義勝
大塚 昌哉 永嶋 祐子 篠原 泰三 佐藤 広志
君島 芳一

送付資料等一覧

- ・資料1 令和3年度学校評価アンケート報告
- ・資料2 令和3年度学習に関するアンケート報告
- ・資料3 令和3年度進路状況報告
- ・委員名簿
- ・PTAだより第85号
- ・別紙 ご意見記入用紙
- ・返信用封筒

【各報告に関するご意見】

令和3年度学校評価アンケート報告について

生徒

- 昨年度より「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が少なくなっている項目が多く見られました。その理由と対策を聞きたいです。またⅡ自由意見のコース制の件では、私の職場である認定こども園の職場の話は要請があれば行うことが可能です。
- 大きく変化したところを見てみると「学校行事の充実」の減少が目につきました。やはりコロナの影響下かと感じました。
- 生徒のアンケート結果で、部活動の施設・設備について整っていないとの回答が多いが、校庭は広く、ナイター設備もあり、問題はないと感じています。
- 生徒のアンケートから見ると、令和3年度の方が全体的に下がっているように思われる。行事や部活はコロナの影響があると思う。生徒指導については難しい面もあるが、時代にあわせて変えていくことも必要だと思う。
- 令和2年度に比べ、3年度の生徒の「そう思う」の減少が気になります。意見書で学習進路より生徒指導の意見が多い。生徒は服装や頭髪よりもっと学習

意欲をもってほしいと思います。

保護者

- 生徒のアンケート結果と比較すると、昨年度より「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合は多く、嬉しく思います。さらに強みを伸ばして下さい。
- 全体的に高評価である。昨年度も同じ状況であることから学校経営が良い状態で安定していると感じます。

生徒・保護者

- 生徒及び保護者による評価の結果については、いずれも「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的評価が75%を超える項目がほとんどである。生徒にとっては、学校生活や充実感に達成感を覚えている様子がわかる。また、保護者については、学校への信頼感が強く、本校への入学に満足している保護者が圧倒的に多い。
- 課題としては、学習や部活動をする施設・設備の充実や学校行事の充実が挙げられる。特に、学校行事はコロナ禍の中であっても、生徒の主体性や創造性を生かし、コロナ禍だからできることも考えていく必要がある。

令和3年度学習に関するアンケート報告について

- 7. 2年次からのコース満足度が高いのわかりました。
 - 8. 満足度の高さがうかがえます。
 - 「気分次第」「ある程度努力している」にもったいなさを感じますが「計画を立てることもある」がもっと更に増えて自主性が少しでも芽生えてくれることに期待します。
 - 進学校ではないので、家庭学習時間も短いのは仕方ない。自分の進路、その進路に必要な資格や教科を理解すれば、もう少し長くなるのかと思いますが、難しいですね。
 - アンケート8項目の中で、6項目（「1 学習状況」「3 平均学習時間」「4 定期試験のための計画性」「5 定期試験に取りかかる時期」「7 コース満足度」「8 コース独自教科での興味・関心」）で良好な傾向が見られる。特に2項目（「7 コース満足度」「8 コース独自教科での興味・関心」）については、生徒から好意的に受け止められており、満足度が高い。
- 課題としては、項目「6 取得資格」の各検定への興味・関心を高めるとともに、理解を深めることが大切である。その検定を受けることの意義や挑戦することのよさを見いだせるよう働きかけることが必要である。
- 家庭学習で全くしない生徒が3割以上いるのは、なんとかしたいですね。早く進路目標をはっきりさせることが重要だと思う。そうすれば家庭学習時間が増えると思う。自分の進路を真剣に考えさせて欲しい。

- 定期試験や検定に挑戦する意欲が感じられないと思います。将来に対する夢や希望をもっと持って学習をしてほしいと思います。

令和3年度進路状況報告について

- 未定者が少なく、それぞれの進路が明確であり良い結果だと思えます。
- 専門学校への進学が多く、将来像をしっかりと見据えている感じを受けます。
- 専門学校が多いですが、専門学校に進んだ後の進路が知りたいです。専門学校で学んだことがいかせる職業につけたか興味があります。
- 3年間学んだ証として、卒業後の進路は重要である。進学者80名、就職者63名のいずれも自分の新たな人生を歩む出発点に立つことが出来た喜びを実感していると思う。本校で学んだことが生かせるよう大いに期待している。課題としては、卒業生は152名であり、8名の退学者がいたことである。また、卒業生の中には9名もの在家・浪人・一時的雇用等、進学未定者、就職未定者が存在する。今後、自己実現を目指す進路指導の更なる充実が必要となる。
- 全体的に進路未定者が2名ということで、よかったのではないかと思う。コロナ禍の中でよくやっていると思う。次年度に期待したい。
- 家庭環境によりますが、本人の希望ができるだけ叶えられることを望みます。)

益子芳星高等学校の魅力化・特色化について

- 興味関心のある授業等は積極的にかかわろうとする意欲が感じられます。「好き」を伸ばす環境を広げていきたいと思えます。その為には基礎学力も必要であることを伝えていく、理解してもらう授業が大切と思えました。
- ましこ未来大学ではお世話になりました。アンケートでは、みなさん座学よりも視察研修、アクションプラン作成に良い感想を持っていただいたようです。アクティブな益子芳星高校生として特徴づけていただければと思います。
- コース制にしたのであれば、進学も4年生大学入学者を増やす。就職も製造・サービスだけでなく様々な職種に就けるといいですね。
- 本校は、地域の普通科系高校として、進学から就職まで様々なニーズに対応し、多くの実績を残している。
本校では、学びを魅力的なものにするために、総合的な探求の時間の活用をはじめ、普通科内のコース設置（コース独自教科）を図り、学習の充実に努めている。特に、高校2年生は「ましこ町民大学」（令和2年度）及び「ましこ未来大学」（令和3年度）に入学し、益子町の課題の解決に向けて提案し、積極的に行動に移している。
課題としては、生徒が企業や行政等とも協働した探求活動を一層進められるよう、本校に町と協働しながら地域コーディネーターを配置するとともに、企業

や行政、商工団体等の地域と本校がつながる仕組みづくりが求められる。

- 地域との交流が盛んに行われており、「未来大学」やボランティアなどこれからの時代を生きる生徒にとっては大切なものだと思います。個性を大事にしながらか進めて欲しいと思います。
- 「地域になくてはならない学校だと思います。」益子町との連携をして、将来の益子を担う教育として町民大学への参加はよい事業だと思います。
今後、益子町では図書館の建設が行われます。図書館での学習スペース等で連携をしてはと思います。

その他

- コロナ禍の中、ご苦勞が多いと思います。生徒の為に今後ともよろしく願います。
- とても魅力のある学校に感じました。今後も応援しています。
- 今後、スポーツや芸術での進学や就職のニーズに応えるため、本校（普通科）におけるコースの設定に加え、体育や芸術等の選択科目を増やすなど、尖った教育課程の編成や指導者の配置ができるよう検討を進めていく。
「第三期県立高等学校再編計画」（令和5年度～令和9年度）の状況や動向を踏まえ、本校は地域協同に係る普通科系高校としての存在意義を高めるため、行政や大学、企業等と連携した地域課題の解決など探求的な学びを行っていく。特に、本校は県教委から「地域魅力化型」又は「グローバル型」の指定を受けられるよう要望し、地域課題の解決に向けた学習を実施していく。
- 生徒の皆さんの努力で益子芳星らしさはあると思いますが生徒の皆さんの意識向上のためにも先生と生徒の立場のあり方を生徒に指導してもよいと思います。